

成果報告書

担当者：真坂一彦

講座名：樹木の成長・繁殖様式から森林の成り立ちを知る

実施日：2022年10月22日

受講者数：10名

定員数：20名

受講料：300円(保険料のみ)

目的

様々な樹種が無秩序に混在するように見える森林でも、それぞれの成長方法や繁殖方法が森林の今ある姿に大きく反映している。
本講座では、森林科学に関心を寄せる県内の高校生を対象に、本学滝沢演習林内を歩きながら、それぞれの樹木の生き方（生態）を説明し、森林の成り立ちについて理解を深めることを目的とする。

活動実績

本学滝沢演習林において、講義室でスライドを用いて森林の更新方法と樹木の成長、花の咲かせ方、花粉交配の在り様、そして森林の構造の関係について説明した後、屋外に出て林道を歩きながら実際の樹木を指し示しながら森林の概要を説明した。

樹木の成長や森林の構造を説明するには、樹種の判別が容易な秋の紅葉時期がもっとも適切である。たとえば、枝葉の伸ばし方の違いが樹冠の位置による葉の紅葉・黄葉の仕方に反映したり、窒素固定菌と共生している樹木では紅葉・黄葉がほとんどみられず、雪が降るまで緑の葉を着けているなどの生態的特徴が際立つ。

今後の課題

今年はシャイな参加学生が多くて積極的に質問するどころか、こちらからの問いかけにも反応が少なかったため、参加学生の積極性を引き出すプレゼンを工夫する必要がある。